

## 「生きる力」をはぐくむ評価のあり方

### I 研究の内容

#### 1 研究の方向性

2009年度は、国語科において単元を通して1枚ポートフォリオを用い、読み取りの深まりや気持ちの変化を見取っていった。2010年度は、道徳の授業を通じて研究を行い、学習前・学習後において、児童の道徳的価値の高まりや心の変化を見取ることができた。2011年度は1枚ポートフォリオ評価法に焦点を当てた3年目として、作成・活用の仕方をさらに研究しながら、生活科や社会科の授業を通じて検証を行い、表現する力が伸びたり、理解が深まったりすることを見取ることができた。そして、2012年度は、前年度までの国語科、道徳、生活科、社会科からさらに教科を広げて算数で研究を進めた。2012年度は、ポートフォリオから児童の実態をつかみ、児童の学習意欲向上をめざして取り組んできたが、ポートフォリオを振り返ったり、児童相互に交流したりすることで自己肯定感が高められ、学習意欲向上にも効果が出てくることが確認できた。一方、ポートフォリオから見えてきた児童の実態や授業の課題を次によりよく生かしていくということが課題として挙げられた。

そこで5年目にあたる今年は、一枚ポートフォリオを活用する目的をより明確にして、児童と教師の双方にとって有意義な活用ができるように取り組んでいくことにした。教科は、限定しないことにした。

#### 2 研究授業

国語科 第4学年「調べて発表しよう だれもがかかわり合えるように」  
道徳 第5学年「いま、本当に大切なもの」

### II 成果と課題

#### 1 成果

- ・これまで積み上げてきた継続研究を確認し合い、さらに新しい試みも加えながら、本当にすばらしい授業実践につなげていただいた。評価・支援に生かし、自己肯定感を高める1枚ポートフォリオの活用を全体で共有することが出来た。
- ・今までの研究の積み重ねを生かしながら、継続して1枚ポートフォリオの評価への活用の研究をしてきたことにより、いろいろな教科・分野で、どのように生かしていけるかのノウハウができてきたことなど、研究を深めることができた。
- ・部会の先生方が、前向きで、一緒に研究することができ、とても多くのことを学べた。

#### 2 課題

- ・全国教研の様子をうかがうと、他の評価の仕方を探るより、教科領域の幅を広げる、或いは、1つの教科で深めるなど、継続して1枚ポートフォリオに取り組んでいくことがよいと思う。
- ・子どもの活動を評価するにあたり、指標となる言葉についてもう少し研究できるとよい。

- ・ 1回の授業が良かったということより、一つの単元の流れの中で、評価→改善、また、評価→改善という流れを作り出すことが大切だと思う。実は、どの先生も、それを日常的に行っているのだが、それが部会の中で共有できるような、そして、1枚ポートフォリオがどう関わっているのか、明らかに出来る方法を考えたい。
- ・ 1枚ポートフォリオ評価と合わせて、別のもの（手軽に準備ができ、短時間で評価ができ、次の活動に活用できるもの）を模索していく必要がある。

### III 成果物

#### 学習カード

##### だれもがかかり合えるように

「かかり合う」とはどういうことですか。自分の考えを書きましょう。

「かかり合う」とはどういうことですか。自分の考えを書きましょう。

近くの人だけでなく、言葉や文字でつじなない人とも思いを伝えあえたり、点字などで身近なところにもかかわるための道具や工夫はあるんだなと感じました。また、いつか自分が物をつくる人になった時、何かの便利に使えるようにしたいです。

名前 ( )

この学習を通してできるようになったことを書きましょう。

調べ活動をするとき

本などにあたる時、他に書かれていることと  
考えながら書き取る

発表のげんこうをつくるとき

相手を思いやるか、よさを伝えるか  
かきうつす  
聞き手は、気持ちを伝える

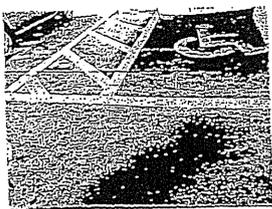
発表会で発表するとき

速口にならずにゆっくり話す  
みんなに聞きやすくする  
聞き手の目をみる

友達の発表を聞くとき

考えながら聞く、うなずきながら聞く  
しつもんや意見を考えながら聞く  
質問をしたら、自分から（思いついたこと）を  
聞く

見つけたもの (新しいもの)   
見つけた場所 (いざよい) 工夫・気づいたこと



車いす用のあがり階段  
、車いす  
がのりやすい  
スリッパ！入口の  
近くにある

見つけたもの (おしん用の椅子)   
見つけた場所 ( ) 工夫・気づいたこと



いいなあおんがか  
使っていますこれ  
をわしはかからず  
まわりのものを  
たたくついでにこ  
れがあれば足外不  
自由でも安心なかと  
思いました。

(部長 原藤 生府)